

# 目 次

<b>序：なぜ就労自立支援の再考なのか</b> ……………	埋橋孝文	1
1 経済給付とサービス給付		1
2 就労支援サービスの成果はどのように測られるべきか		3
3 豊富な就労支援サービスの実践から		4

## 第1部 就労自立支援をどう捉えるか

<b>第1章 生活困窮者自立支援制度における段階論と並列論</b>		
■評価指標の行き着く先 ……………	畑本裕介	9
はじめに		9
1 就労準備支援とは		10
2 生活困窮者自立支援制度と就労による自立の位置づけ		12
3 生活困窮者自立支援制度の起源としての パーソナル・サポート・サービスモデル事業		19
4 段階論と並列論それぞれの実務上の困難について		20
おわりに		24
<b>第2章 対貧困政策の「自立支援」型再編の意味を考える</b>		
■「再分配」か「承認」か? ……………	堅田香緒里	27
はじめに：問いの所在		27
1 福祉の新自由主義的再編		30
2 対貧困政策の新自由主義的再編		33
3 「自立支援型の対貧困政策」の統治様式		38
おわりに：「再分配」のゆくえ		43
<b>第3章 就労自立支援サービスの現在</b> ……………	桜井啓太	46
■生活困窮者・生活保護の視点から		
1 就労支援政策の現在		46
2 生活保護の就労自立支援サービスの隆盛		49
3 「「自立しやすい」制度へ」の両義性		54

- 4 自立支援の展開——〈生〉そのものへの統治 61
- 5 社会的投資国家——フクシからトウシへ 64
- 6 対立軸の整理 69

#### 第4章 ライフチャンスと社会的投資論 …………… 田中弘美 76

##### ■ヨーロッパの議論を中心に

- はじめに 76
- 1 社会的投資論とは? 78
- 2 社会的投資国家への変容? 85
- 3 社会的投資とライフチャンス保障 89
- 4 ソーシャルワークの位置づけ：マクロとミクロの接点 94
- おわりに 96

#### 第5章 貧困のなかの障害者／障害者のなかの貧困 …… 山村りつ 98

##### ■社会構造の壁と就労支援の意味

- はじめに 98
- 1 障害者の貧困の把握 99
- 2 自治体による調査を活用した貧困の把握 102
- 3 障害者の貧困の原因 107
- 4 「外部」に出現する障害者の貧困 111
- 5 障害者の就労支援サービス再考 113
- おわりに 116

## 第II部 就労自立支援サービスの実践と成果

#### 第6章 生活困窮者支援とソーシャルワーク …………… 後藤広史 121

##### ■就労自立支援サービスを中心にして

- はじめに 121
- 1 ホームレス状態にある人々の現状 126
- 2 就労自立支援をめぐる諸論点 129
- 3 就労自立支援をめぐる評価 133
- 4 就労自立の「かたち」 135
- おわりに：就労自立支援ができるために 136

<b>第7章</b>	<b>生活困窮者自立支援と地域共生社会へ</b>	
	■大阪府箕面市・北芝の挑戦 ……………	池谷啓介・築瀬健二 140
1	北芝のまちづくりの変遷	140
2	北芝の取り組み	145
3	北芝の相談事業について	147
4	「体験型」就労支援の実際	152
5	「生活困窮者自立支援」のコンセプト	155
6	若者支援の取り組み：「体験型」プログラム	157
<b>第8章</b>	<b>栃木県の若者支援における中間的就労 ……</b>	中野謙作 163
1	最初に出会った少女との経験	163
2	「食べる」「学ぶ」「働く」ための自主事業	165
3	中間的就労の試み	175
4	これからのスタンダード	180
<b>第9章</b>	<b>京都自立就労サポートセンターにおける</b>	
	<b>就労訓練事業(中間的就労)の取り組み ……</b>	高橋尚子 184
1	就労支援とは何か	184
2	京都特有の中間的就労：就労体験	190
3	中間的就労：有給雇用型	194
4	中間的就労の一事例	196
5	評価指標と効果測定	199
	<b>むすびに代えて ……………</b>	埋橋孝文 203
	■本書の特徴と今後の課題	
<b>座談会</b>	<b>生活保護と就労自立支援をめぐって ……………</b>	209
	——生活保護ケースワーカーに聞く——	
	参加者：渡辺和子・仲野浩司郎・山下一郎	
	聞き手：埋橋孝文・田中聡子	

あとがき

索引